

高血圧合併妊娠における妊娠初期の血圧管理が母児に及ぼす

影響の検討

【研究の対象】

2008年4月～2019年3月の期間に、当院で治療を行った高血圧合併妊娠の患者さん
京都大学医学部附属病院をはじめ、多くの施設との共同で行います。

【研究目的・方法】

高血圧合併妊娠に対して妊娠初期（妊娠16週未満）における至適降圧目標を評価することを目的
としています。

診療録から情報を収集します。

【研究に用いる試料・情報の種類】

母体年齢、妊娠初期の血圧推移、使用された降圧薬の開始時期や種類、加重型妊娠高血圧腎症発症
の有無、分娩週数、分娩様式、児発育・児出生体重などの情報を匿名加工したデータをUMIN医
学研究支援・症例登録システムクラウド版に登録し解析を行います。

【研究によって生ずる患者様への利益・不利益及び危険性とその対応について】

患者さんにとっての直接的な利益はありません。集積される情報には個人識別情報を含まず、複数
の情報から個人を推定できないように配慮しています。さらに、情報の収集、蓄積に用いるシステ
ムの厳格な管理、運用、目的を限定した情報の取り扱いにより、患者さんに与える情報リスクを極
小化しており、実質的な不利益はないものと考えられます。

【連絡・問い合わせ先】

この研究に関する相談は、下記連絡先までご連絡ください。

なお、この研究の対象者となることを希望されない場合は主治医までお申し出ください。

その場合でも診療上の不利益が生じることはありません。

三菱京都病院 産婦人科 小林 弘尚

〒615-8087 京都市西京区桂御所町1番地 電話 075-381-2111（代）

研究代表者：京都大学医学部附属病院 婦人科学産科学教室 近藤 英治